

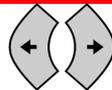
『4月1日より三重テレビ・NHK総合津 地上デジタル放送開始のご案内』と『デジタル放送・デジタルテレビに関する用語』

4月1日に地上デジタル放送が開始された三重テレビ・NHK津・NHK 奈良放送局の放送を視聴するのはどのようにしたら良いかといったご質問をいただきました。先月号にて図解でご紹介させて頂きましたが引き続きご紹介いたします。

デジタルコースご利用のお客様



を押し、メニュー画面を表示する



でシステム設定を選ぶ



で「チャンネル設定」を選び

決定

を押す

(チャンネル設定画面が表示されます。)



で「初期スキャン」を選び、

決定

を押す



で「する」を選び、

決定

を押す

(スキャン終了までしばらくお待ちください。)

チャンネルサーチ(初期スキャン)が終了すると、終了確認画面が表示されます

終了」で

決定

を押す

メニュー

決定

を押す、通常画面に戻す

・上記手順でボタンマークはリモコンのボタンを表しています。

上記操作を行うことにより各放送が自動でリモコン数字ボタンに割り当てられます。割り当てられた地上デジタル放送のリモコン数字ボタンは変更可能です。操作方法は、取扱説明書(112~113ページ)をご覧ください。

地上デジタルチューナー内蔵テレビ・地上デジタルチューナーをご利用のお客様

ご利用機器の取扱説明書をご覧ください。地上デジタル放送のチャンネル設定を行ってください。

三重テレビ・NHK総合津が追加されれば正常です。

なお、ご利用機器の操作等に関するお問い合わせにつきましてはお買い求めの販売店、メーカーサービス等にご相談ください。

デジタル放送・デジタルテレビに関する用語

デジタルハイビジョン

地上デジタル放送やBSデジタル放送で行われている高精細度テレビジョン放送のことです

デジタルチューナー

セットトップボックス、デジタル放送受信アダプタ、デコーダなどと呼ばれることがありますが、デジタル放送を受信するための端末機器のことです(ZTVではセットトップボックス(STB)と呼んでおります)

データ放送

地上デジタル放送、BSデジタル放送、CSデジタル放送では通常のテレビ番組以外に文字・図形などのデータも電波に載せて送ることができます。データ放送には通常の番組を補間するもの、独立したものの、及び双方向通信を利用したサービスなどがあり番組(放送局)によってさまざまです

パススルー方式

受信した放送信号をそのままの信号形式で、同じ周波数で再送信する方式のことです

受信C/N

受信C/N(比)とは、デジタル放送における受信電波の品質(きれいさ)を表す尺度として用いられる指標であり、電波の搬送波電力(Carrier)と雑音電力(Noise)との大きさの比で表されます。受信C/Nが大きい状態とは受信電波の品質が良い状態を表し、受信C/Nが小さい状態は雑音成分が大きく受信電波の品質が劣化している状態を表します。

・EPG

Electronic Program Guide(電子番組表)の略称です。一般的には新聞のテレビ番組欄のような構成をしており、時間帯別に放送される番組が表示されます。EPG上で所望の番組を選択・視聴・予約する事ができます

・AAC5.1ch

AACとは、Advanced Audio Codingの略称で、地上デジタル放送、BSデジタル放送及び110度CSデジタル放送における音声符号化方式のことです。デジタル放送では、最大5.1チャンネル(5チャンネルステレオ+低域強調チャンネル)の音声信号を送信することができます。

・D端子

デジタルチューナーとテレビを接続する為の端子。D端子を通過する映像信号は、それを装備する機器(テレビ及びデジタルチューナー等)の機能によって制限されます。したがって、その機器が出力する信号や入力できる信号の種類が分かるように、D端子をD1、D2、D3、D4、D5に分類されています

D1 525iが入力できる

D2 525i、525pが入力できる

D3 525i、525p、1125iが入力できる

D4 525i、525p、1125i、750pが入力できる

D5 525i、525p、1125i、750p、1125pが入力できる